

保護者の皆様

保護者アンケートのご意見について

令和3年1月29日

植草学園大学附属弁天こども園

園長 久留島太郎

園だよりでお知らせしたとおり、先日お願いいたしましたアンケートの個別にいただいたご意見について回答いたします。似ている内容をまとめたり省いたりしているものもあり、全てのご意見に回答とはいきませんが、ご了承ください。皆様からのご意見ご要望を真摯に受け止め、今後のこども園運営に活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

【「園の方針・目標」について】

・一人ひとりに合った対応をしている。

・好きな遊びと集団生活のどちらも充実していて、様々な経験ができています。

→幼児教育には教科書がありません。それは、この時期の子どもたちの学びを支えるのは、自分の興味関心にじっくりと関わる体験であるからです。引き続き一人ひとりの興味関心に沿った保育を行なっていきます。また、同時にみんなで過ごすことの楽しさや良さを感じられるような体験も日々の保育の中に取り入れています。ご理解ありがとうございます。

・園長から園についての方針や想いをもっと伝えてほしい。

→植草学園が大切にしている多様性を包摂した共生社会を目指すインクルーシブな保育というものを、園だより以外にもみなさんにご理解いただける方法を検討していきます。

・デザートは食後ではなく、いつ食べてもいいということを説明されたことがない。また、幼保小連携によく触れているが、給食の繋がりを考えてなぜあえてそうしているのか知りたい。

→食育に関してはご家庭との連携が必要になります。引き続き園の取り組みについてご理解がいただけるように給食だより等も通してお知らせいたします。こども園での給食における果物については、文化としてのコース料理の最後に出されるデザートという位置付けでなく、食べることが嬉しくなるような、食べることに興味がもてるような位置付けとして、他の食べ物と同じという位置付けをしております。小学校との接続会議でもその旨情報交換等をしてまいります。

【「保育内容」について】

・園での様子も細かく伝えてもらったり不安な点もしっかり話を聞いてもらったりして感謝している。

→新型コロナの影響もあり、園の様子が伝わりづらかったり保育者と話す機会がなかなか取れなかったりしますが、保護者の方との連携がより一層必要になってくると思いますので引き続き子どもたちの様子を登降園時や写真、ホームページ等で伝えていきます。

・コロナ禍で園で過ごす様子が見られないので動画で様子が見たい。

→今年度は懇談会を活用し、普段の様子を動画や写真でお伝えする時間を設けました。引き続き機会を見つけ、行っていくとともに、今後に向けていろいろな方法を検討しています。

・給食を楽しみにしている、実物を見ての経験などありがたい。

→クッキングやバイキング給食ができないなかですが、引き続き栄養士とも相談しながら食の経験を取り入れていきたいと思います。

・行事がなくなったことは残念だが、それ以上かと思うような内容もあって思い出になった。また、普段の季節感のある工夫がとても楽しい。

→初めは“行事ができない”と職員も考えましたが、子どもたちにとってどのようなねらいで行事が必要か、改めて考えるきっかけにもなりました。また、子どもたちとも相談して行事が出来上がった1年でした。コロナ禍だからではなく、子どもたちにとって有意義な行事にできるよう今後も話し合っていきます。

【「保護者支援」について】

・連絡帳で相談にのってもらっている。話をするときは一人ひとり気にかけてみてもらえていることがわかる。

→連絡帳は保護者と園とが子どもたちのことについて共有するために欠かせないものです。今後ともご協力をお願いします。ご家庭での情報は日々の保育に結びついていきますし、園からの発信についても丁寧に書いていただいていますのでありがたいと思っています。

・担任の先生以外からも話が聞けて嬉しい。

→どの職員も保護者の方と話したいという思いはあります。ほんの少しの時間や小さな話題を共有し、温かな雰囲気のかども園を築いていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

・怪我について連絡がないことが多い。

→園児ひとりひとりの園での生活の様子については、クラス担任だけでなく全職員で見ているようにしていますし共有もしています。が、子どもたちや保護者の方が不安にならないよう丁寧に対応していきます。

・子どもが怪我をさせた時に親としては小さなことでも知りたい。

→保護者の方の気持ちとしてよくわかります。が、こども園としてお子様をお預かりしているので「園で起きたことは園で対応していきたい」ということをご理解くださるとありがたいです。場合によっては怪我やトラブルの状況共有のために両方の保護者にお話しさせていただくこともあります。

・担任の先生と話す機会が少ない。

→弁天こども園は職員のシフト制を導入しています。そのような配置のなかでの保育ですので担任と話す機会が少ないかもしれませんが、担任への相談等がある場合は別日を設けることも可能ですので遠慮せずお申し出ください。

・ホームページで子どもたちの様子を以前より伝えてもらっている

→今後も子どもたちの園での様子を様々な形でお伝えできればと考えています。

・懇談会は、話しやすいように工夫してくれていて良かった。年に数回あるといい。

→今年度はコロナの影響で回数や時間などの制限をして実施しましたが、今後も保護者のみなさまにとって有意義な場になるよう工夫していきます。

・ホワイトボードの内容、面談などを Web を活用して行ってほしい。

→本年度、園便りやお知らせなどを電子的に配布する方法に変えさせていただきました。本年度の評価を踏まえ、クラスから保護者の方に向けての日々の連絡事項や、発信の方法につきましても今後より良い方法を検討してまいります。

・ボランティアができなかった。コロナが収束したらまた園との関わりをもちたい。

→こども園のボランティア活動は保護者と園とが協同して、子どもたちの園生活を支え豊かなものにしていくことを目的としています。しばらくは 3 密を避けるが続くと思いますが、そのような状況でもできることを工夫していきます。

【「安全と環境」について】

・定期的な避難訓練で子どもたちの危機管理意識が非常に高いと感じている。

→今後も避難訓練、不審者訓練等を様々な想定をしながら定期的に行い、安全に努めてまいります。年齢の大きな子どもたちには、横断歩道の渡り方や歩道の歩き方、地震の時には頭を守ること、火災では姿勢を低くすることや口を袖口などで覆うこと、不審者訓練では知らない人にはついていけないこと等を話し、自分で身を守ることも伝えています。

・園庭で幅広い年齢が一緒に楽しそうに遊んでいると感じる。

→そのように見ていただいていること、嬉しく思います。以前から異年齢の関わりは、お互いに人を思いやる心の育ちや憧れをもって自分もやってみようとする気持ちの育ち等も見られ大切にしてきたところですが、コロナ禍等でさらに人との関わりが減っているこの頃、園での異年齢の関わりは今後も大切にしていきたいと思っています。園では保護者の方も一緒に園の子どもたちの子育てをしていただければと思っていますので、何かの時には保護者の方も園にいる子どもたちに声を掛けていただければと思います。

・一度に園庭に出ている人数が多く、自転車のスピードなどが危険だと思う。

→上記でもお伝えしましたが、異年齢の関わりを大切にしていることもあり、園庭に出ている人数が多いと感じられる方もいるかもしれません。小さな子どもがいる時には活動を配慮したり子どもたちにも遊び方に気づけるような声掛けをしたりしているところです。徐々に大きな子どもたちは、小さな子どもたちが部屋に入ってから思い切り走る遊びをしよう等と自分たちで考えることもしています。また、小さな子どもたちは優しく声を掛けてくれる大きな子どもたちに最初は立ち尽くしていることもありますが、今では安心できる人となり、傍でさり気なく真似して遊ぶ姿も見られます。

自転車、三輪車のスピード、乗り方については繰り返し子どもたちに伝えているところです。

・登降園時に門の前に車を停めている保護者について、再度周知してほしい。

→門の前は公道でもあり、登降園中の子どもや保護者の方、また地域の方も通りますので、駐停車はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。